HTLV-1関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究【M2024-008】

本研究の目的
HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス）感染者は、日本全国に約110万人存在し、その一部が難治性神経疾患のHAM（HTLV-1関連脊髄症）や、難治性白血病のATL（成人T細胞白血病）を発症します。しかしこれらは稀少疾患であるため研究が進みにくく、有効な治療法や発症予防法が未だ確立されていません。本研究では、HAMおよびATLの免疫学的病態を解明し、新しい診断法や治療法の開発を目指しています。特に、HTLV-1感染細胞を特異的に攻撃するHTLV-1特異的細胞傷害性T細胞（CTL)の機能を解析し、ATLやHAM病態における新たな知見を獲得することを目的としています。

研究対象疾患と試料・情報の利用目的
HAM患者、ATL患者、HTLV-1感染未発病者、HTLV-1非感染者（健常者含む）の末梢血単核球細胞および髄液細胞（HAM患者のみ）を用いて、HTLV-1特異的CTLの機能を解析します。情報は、試料の背景を把握するためにのみ利用します。

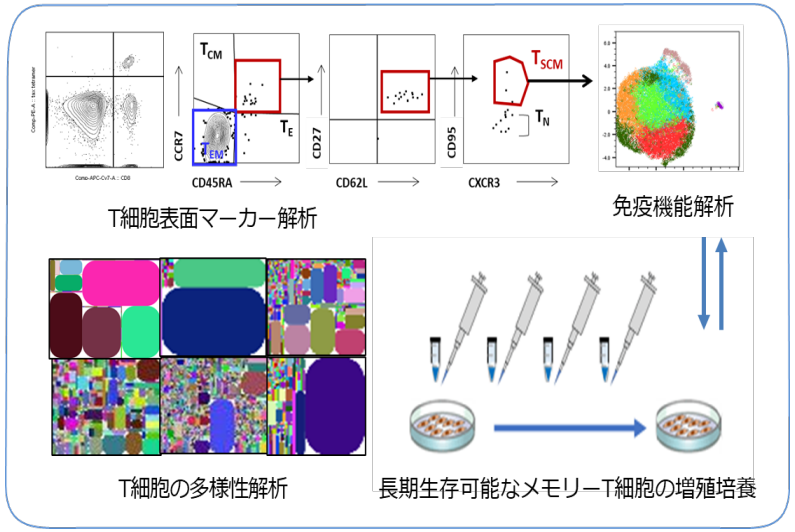
研究の方法（試料・情報の種類、取得方法と利用方法、利用者）
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター（共同研究機関）から提供された匿名化後の試料について、HTLV-1特異的CTLの多様性や表面マーカー、免疫機能を表す遺伝子解析を、主にフローサイトメトリーという細胞特性を解析する機器と、遺伝子解析を行う次世代シーケンサーという機器を用いて行います。また、将来の新しい細胞療法の開発のために、細胞培養を行い、若いHTLV-1特異的記憶T細胞の増殖方法についても検討します。本研究では、患者様の個人情報は匿名化により一切知り得ず、識別されません。試料についての年齢、性別、病名、ウイルス量、重症度の情報のみを利用します。これら試料・情報の利用する者の範囲は、本研究研究を遂行する者に限ります。

試料の利用開始予定日
倫理委員会での承認日以降
試料・情報の管理責任者
東京医科歯科大学　微生物・感染免疫解析学分野　　准教授 田中ゆきえ

【試料提供および利用停止の求め/苦情問い合わせ先】
試料提供元：聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター
川崎市宮前区菅生2-16-1
電話：044-977-8111（内線80058）
または、下記問い合わせ先にご連絡頂きましたら、即時に本研究への試料提供と利用停止を行います。

※本研究に対する試料提供と利用の停止を申し出ても、診療上の不利益を被ることはありません。

研究責任者/お問合せ先
東京医科歯科大学　微生物・感染免疫解析学　准教授 田中ゆきえ
〒113-8519東京都文京区湯島1-5-45
電話：03-5803-5369（対応可能時間：平日9:00～17:00）



本研究で行う解析例